

別紙

I. 事業評価総括表

単位：円

番号	措置名	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	江津市	2,031,000	2,031,000	事業名：波積地域コミュニティ 交流センター屋根塗装工事 総事業費：2,052,000円

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	波積地域コミュニティ交流センター屋根塗装工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市			
交付金事業実施場所		江津市波積町本郷325-1			
交付金事業の概要	<p>昭和56年度に建設された波積地域コミュニティ交流センターは、地域住民の活動拠点とし、健康教室やニコニコ給食をはじめ各種行事などで平成28年度は323件、5,710人の利用がありました。</p> <p>しかしながら、建設後36年が経過し建物の老朽化が目立ってきています。とりわけ屋根については、建設後大規模な延命施工等を行っておらず、劣化が著しくなっており、既に雨漏り等の被害が出ています。平成28年10月には、センター利用者のお年寄りが雨漏りによる廊下の水溜りに気付かず、滑って転倒されました。幸いにも大事には至りませんでした。センター利用者のほぼすべての方が通る通路上で起きた事故であり、非常に危険であります。応急的に地元の方が修繕を行われ、今現在雨漏りはしていませんが、このまま放置すると、今後の施設管理上に重大な支障をきたしかねない恐れがあります。</p> <p>そのような状況に対応するため、当交付金を活用し屋根の塗装更新を図ります。具体的には屋根全面の防水塗装を実施します。</p> <p>(仕様及び数量) コロニアル屋根 362m²、棟・鼻先・鋼板 126m²</p>				
総事業費 (円)	2,052,000	交付金充当額(円) うち文部科学省分 うち経済産業省分	2,031,000		2,031,000

交付金事業の成果目標

江津市東北部の内陸に位置する波積地域は、東は大田市温泉津町に接し、温泉津町に端を発する都治川が本地域を東から西へ貫流しています。また、本地域は、都治川沿いの盆地に位置する本郷地区を中心として、南北の山間地帯にそれぞれ広がる北地区、南地区をあわせた3つの地区からなり、都治川流域に続く豊かな田圃は、市内随一の穀倉地帯を形成するとともに、古来この地域が賑わいを見せてきた一因となりました。

世界遺産に登録された石見銀山遺跡に通じる天領街道の沿線地域としても栄えた本地域は市内屈指の名勝「岩瀧寺の滝」を有し、1752年には既に歴史に現れる石見神楽（出雲大社教神代神楽波積支部）など貴重な文化資源も数多く残り、伝承活動も盛んな地域です。また、当地域を含む市内東部地区には、2つの海水浴場や菰沢池を中心とし、オートキャンプ場を有する菰沢公園、風光明媚で自然環境豊かな浅利富士、登り窯の残る石見焼の窯元などの地域資源が豊富であることに加え、海岸沿いにある大規模な風力発電施設や、国道9号沿いの「農産物直売施設（道の駅）」も地域活性化に大きく貢献するものと期待されています。

一方で、市政発足当時（昭和29年）に1,556人を数えた本地域の人口も、直近では339人と、実にこの50年間で78%の人口が減少しています。また、先に本市が島根大学と共同で実施した空き家実態調査では、本地域の22.2%が空き家となっているという調査結果が出されました。

こうした人口減少に危機感を持った本市は平成22年度に江津市地域コミュニティ推進指針を策定し、「地域コミュニティ組織」の設立、活動促進を行っています。

現在、本市では、過疎化や少子高齢化が急速に進展しており、とりわけ中山間地域では、無住化集落や限界集落が多数発生しています。こうした集落や自治会においては、助け合いや支え合いによって守られてきた伝統行事や共同作業など、旧来の暮らしが守れなくなっています。そうした現状に対応するため、今までの集落や自治会のような小さな人口規模のまとまりではなく、ある程度の人口が確保される公民館エリアの生活圏域を単位とした「地域コミュニティ組織（地域自治組織）」を設立し、そこに暮らす住民が共に力を合わせ、主体的に地域づくりや課題解決のための取組みを推進しています。

江津市では、本市の最上位計画である第5次総合振興計画後期計画（H29-31）においても、6つの基本方針の一つに「コミュニティがいきいきと輝くまちづくり」と位置づけ、「自らが考え、行動する、自立した地域づくり」を推進してきました。こうした取り組みの推進により、平成28年度末までに、市内全地区で地域コミュニティ組織が組織化され、まちづくりが始まっています。

当波積地域においても平成27年度から地域コミュニティ組織「波積地区まちづくり協議会」が発足しました。協議会の事務局は波積地域コミュニティ交流センター内に設置し、当施設は地域コミュニティ組織の活動拠点として多くの住民が集り、高齢者のふれあいサロン、健康教室、ニコニコ給食、敬老会、文化祭など助け合いや支え合いの活動を行っています。

現在当協議会は、まちづくりのための地域計画を地域住民と一緒に作成中であり（平成29年度策定予定）、計画策定の後には、計画に基づいて住民主体で地域づくりの様々な事業が展開されます。

この度の交付金事業については、老朽化し雨漏り等の被害が出ている地域コミュニティ交流センターの屋根の全面塗装工事を行い、地域住民が安心して地域活動の拠点として集える場の整備を行います。

このように安心安全の施設設備を行うことによって、地域住民が安心して利用できるようになることで、地域活動を通して助け合いや支え合いの意識を醸成し、波積地域に暮らす人が住んで良かった、これからも住み続けたいと思うような地域づくりに繋がります。

また、この取り組みをコミュニティセンターでの掲示やコミュニティ便りにより住民に周知することで、電源開発への理解・協力を繋げます。

交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するため、波積地域コミュニティ交流センターの屋根塗装工事を実施し、地域住民が安心して地域活動の拠点として集える場の整備を行います。 今回、整備を行うことにより、現在（平成28年度センター利用者数5,710人）の利用者数を整備後10%増やし、6,280人へ増加させます。</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>このたびの交付金事業については、地域活動の拠点であるコミュニティ交流センターの屋根塗装工事を実施しました。 このことにより、センター利用者は平成29年3月の586人に対し、平成30年3月には666人となり、前年同月比13.7%増となりました。 また、年度間の比較において、平成28年度の5,710人に対し、平成29年度は6,113人となり、7.1%増加しています。 今後も、新規事業としてサロンが開催されることから、平成30年度の利用者数は更に増加する見込みです。 このように、利用者が増えることで、地域住民の活動拠点として、地域づくり活動や社会教育活動などによる地域の振興と住民相互の交流促進がより一層図られます。</p>		
交付金事業の契約の概要			
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方
	屋根塗装工事	指名競争入札	有限会社江津塗装
			2,052,000
	計		2,052,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考)

- (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。